



健康百話

～今回ははしもと脳神経外科の橋本先生にお話を伺いました。～

講師紹介

 はしもと脳神経外科
院長(医学博士)
橋本尚樹先生
(はしもと ひさき)



プロフィール

平成4年 愛媛大学医学部医学科卒業
平成4年 愛媛大学医学部附属病院脳神経外科
平成5年 市立八幡浜総合病院脳神経外科 医員
平成11年 愛媛県立今治病院脳神経外科 医長
平成14年 鷺の子病院脳神経外科 医長
平成16年 大洲中央病院脳神経外科 科長
平成26年 はしもと脳神経外科 開院
資格:日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
所属学会:日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会
日本脳神経外科コンgres
日本脳卒中外科学会、日本脳ドック学会

電話:089-989-5959 駐車場:22台
住所:799-2655 愛媛県松山市馬木町2230-1
ホームページ:<http://www.hashimoto-nougeka.com>

■診療科目:脳神経外科

診療時間 \ 診療日		月	火	水	木	金	土
午 前	9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○
午 後	14:30 ~ 18:00	○	○	○	×	○	×

休診日:日曜・祝日



健康情報!

脳神経外科って?

脳神経外科にはどのような症状の時に受診したらよいのか、どのような病気を診てくれるのかと質問されることがたびたびあります。一般的に脳神経外科とは、脳や脊髄、神経系全般の疾患を対象とする診療科です。頭痛、めまい、しびれ、ふるえ、もの忘れなどの症状から、脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など)、脳腫瘍、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患、パーキンソン病、認知症などの診断、治療を行います。

中でも、脳梗塞や認知症になっているのではないか、また将来なるのではないかと心配されている方は意外と多いのではないでしょうか。

脳梗塞は半身麻痺や言語障害などの明らかな症状ではなく、頭痛、めまい、しびれ、気分が悪い、何となく調子が悪いなどの軽い症状で発症することがあります。自覚症状がなくてもMRIで脳梗塞が発見されることもあり、症状がない脳梗塞がある人は将来脳卒中を発症する可能性が高いと言われています。また、頭部や頸部の血管が細くなっている場合も脳梗塞を起こしやすいと言われています。これらの異常を早期に診断し適切な治療を行うことで症状を軽くしたり、発症を予防することができます。

アルツハイマー型認知症は一旦発症してしまうと病状は徐々に進行してしまいます。治療によって進行を遅らせることが可能になってきましたが、発見が早いほどその可能性が高くなります。最近ではMRIで脳の記憶に関わる部位の萎縮度を測定し、早期アルツハイマー型認知症の診断が可能となる場合もあります。早期に発見し、早期に治療を開始することがとても大切です。

脳、脊髄の疾患はさまざまな症状を引き起します。気になる症状があればお気軽にご相談下さい。

安定・持続型ビタミンC+コラーゲン レディ プロビタ・シー



身体のことを大切に思う人のためのビタミンC。ビタミンCは一般的には、病気の予防に有効なビタミンとして広く知られていますが、熱、酸素、光などに対し弱いという欠点があります。その欠点を解消し、安全で安定な新規高機能ビタミンC(AA-2G)を配合しました。コラーゲンも加わり、天然の甘味料・香料で飲みやすくなりました。水なしでどこでも気軽に召上がり頂けます。



高濃度プロビタCゲル

体にやさしいがん治療の一として現在注目されている、高濃度ビタミンC点滴療法。(保険適応外自費診療)この商品は高濃度ビタミンC点滴療法の補助を目的として開発されました。ビタミンCをたくさん必要とされる方にお薦めいたします。

高濃度プロビタCゲルは、高濃度のビタミンC誘導体(L-アスコルビン酸2-グルコシド:略してAA-2G)をゲル状にして体にやさしいはちみつを配合した健康食品です。

通常1日2回(朝晩)、小さじ1杯程度(8g)を目安にお召し上がりください。そのまま、またはパンやヨーグルトと一緒に、また、紅茶やジュースに入れてもおいしくお召し上がりいただけます。

本品はティースプーン2杯で約5gのビタミンC(AA-2Gにして約10g)を摂ることができます。